NGOサポート募金
「東アフリカ飢餓 緊急支援まとめて募金」
2012年4月分活動状況報告

2012年 5月23日

特定非営利活動法人　国際協力NGOセンター

報告対象時期：2012年4月1日～4月30日

活動団体：4団体

目次

特定非営利活動法人　ICA文化事業協会･･2
特定非営利活動法人　難民を助ける会･･3
特活非営利活動法人　フリー・ザ・チルドレン・ジャパン･････････････････････････････4
特定非営利活動法人　メドゥサン・デュ・モンド ジャポン（世界の医療団）･･････････5

団体名	特定非営利活動法人　ICA文化事業協会
活動地域	ケニア共和国マルサビット州
対象者	飢餓で苦しむコミュニティー住民（特に女性、子供）
実施した活動概要	ICAは2011年10月よりケニア国マンデラ、ガリッサ、マガディ、マルサビットの各州で、干ばつに苦しむ住民とソマリア難民に対する食糧と水の配布を実施してきました。2012年5月現在までに累計5,893世帯（約29,465人）への食糧配布を実施し、干ばつの水不足で苦しむコミュニティーで水を運ぶためのパイプを設置し2,145世帯（約10,725人）が裨益しました。 ICAが支援の対象としているのは遠隔地で、また県政府が新しく編成されたばかりで支援が届きにくい場所です。ケニアには40の民族が存在し、事業地にはトゥルカナ、エルモロ、レンディレ、サンブル族など少数民族が共存しています。現在は学校への食料配布、学校菜園の改善、水パイプラインの整備など、食料と水の確保支援の活動準備を進めています。

パイプライン整備で、枯れていた配水ポイントに水が戻り、片道3時間かかっていた水汲みが20分に短縮された（マルサビット州サウスホール）

水が出るようになり喜ぶ小学校生徒たち（マルサビット州ロヤンガラニ）

団体名	特定非営利活動法人　難民を助ける会
活動地域	ケニア東部州のキツイ県とその周辺地域
対象者	干ばつの影響を受けたケニア東部州のキツイ県において水不足の中で生活するケニア人
実施した活動概要	今後の干ばつと水不足に備え、ケニア東部州のキツイ県ムトモ郡にて、安全な水を供給し、衛生環境を改善する活動を行っています。干ばつの際にも枯れない深井戸から、水の手に入りにくい地域に水を送るためのパイプラインと水販売所4ヵ所を建設します。 4月には、一部個所を除いてパイプライン敷設のための掘削工事を完了、パイプの設置も始めています。 人が多く集まる水販売所には、トイレを設置することにし、4月には2ヵ所でトイレの掘削が完了しました。トイレや販売所を住民自ら管理できるよう、水管理委員会を設置します。4月には、その委員会メンバーに対し、設備の維持・管理方法や、衛生に関する研修会を開きました。

水販売所を建設予定の小学校前で、子どもたちに囲まれる難民を助ける会の高城大吾（2012年4月11日、ケニア・ムトモ郡）

水管理委員会の研修の様子（2012年4月29日、ケニア・ムトモ郡）

団体名	特定非営利活動法人　フリー・ザ・チルドレン・ジャパン
活動地域	ケニア　リフトバレー州、ナロク県、Mulot地区内コミュニティBaraka Health Clinic、及びMasai Mara地区
対象者	ケニアのMulot地区及びMasai　Mara地区内に暮す妊産婦と女性、子ども、乳幼児、成人男性
実施した活動概要	● Masai　Mara地区のSikirar村に、衛生的な水へのアクセスが可能になるように、深井戸の設置のために掘削を行い、村人が水を得られるようにサポート支援 ● リフトバレー州ナロク県にあるバラカ・クリニックセンターにて、女性（特に妊産婦）や子ども及び乳幼児を対象にした栄養補給（ビタミン、ミネラル補給）、学校管理委員会と協力して、Masai　MaraやMulot地区のコミュニティ（Salabwek村など）の学校菜園の育成の指導とサポート、栄養強化のための配給プログラムの実施。

バラカ・クリニックセンターで治療を受けた子どもとお母さん

水源確保のための工事が終わったコミュニティの様子

団体名	特定非営利活動法人　ﾒﾄﾞｩｻﾝ･ﾃﾞｭ･ﾓﾝﾄﾞ ｼﾞｬﾎﾟﾝ（世界の医療団）
活動地域	ソマリア
対象者	「アフリカの角」 ソマリアでのミッション
実施した活動概要	世界の医療団は、「アフリカの角」と呼ばれるアフリカ大陸東端のソマリア、エチオピア、ケニアでの医療活動支援を実施しています。ソマリア東北部のプントランド(Puntland)自治州にあるボサソ(Bossaso)では、世界の医療団は昨年7月以来、社会的に弱い立場にある人々を対象に、母子健康支援のプロジェクトなどを行っています。世界の医療団の活動は、女性と子ども達や、町に設置されたキャンプに住む最貧層の立場にある人の支援を優先事項としており、今までに約1万人の妊産婦と5歳以下の4万人の子どもが世界の医療団の医療支援を受けています。

世界の医療団では 1 万人近くの妊産婦、
4 万人の 5 歳以下の子どもへの援助を
中心に行っている。